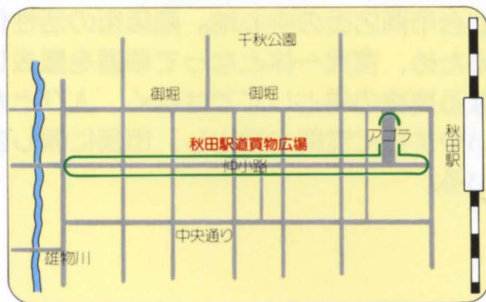


新しい都市空間を創出した買物広場は、各種イベントも開催できるよう工夫され、快適で魅力ある市民のつどいの場として親しまれている。



秋田市は、古くからの城下町で、街の中央を流れる旭川を境として、東側が武家町、西側が商人町に二分され、現在もその面影を残している。そして

毎年一月一七日、三吉神社で行われる梵天と八月五日から三日間行われる竿灯は、全国的にもよく知られている。

秋田駅前買物広場は、秋田駅前再開

データボード⑥③

- ① 秋田県秋田市中通り2丁目
- ② 秋田市役所 ☎0188-63-2222
- ③ 小路：延長635m、幅員8m 広場2,015㎡
- ④ 陶板タイルおよびインターロッキングブロック
- ⑤ 屋竿灯、コンサート、青空市場（ブティック風）、若者の集い

発事業によって生み出された買物広場（アゴラ）と、これを結ぶ仲小路コミュニティ道路よりなり、市内の中央商店街区の中にあつて、そこに集う人々が、見て、歩いて、楽しくふれあうことのできる新しい都市空間を創出している。

広場は、起伏を意図的にもたせ、開放的な空間となっている。また、ゆるやかなスロープをもつコミュニティ道路は、雪国ならではの樹木と、市花のサツキを中心とした植栽により、四季折々の表情をかもし出している。さらに、それぞれには、魅力あるストリートファニチャーが設置され、快適なショッピングや散歩に利用されている。